

大暑の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員に於かれましては、益々ご清福の段、大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げねばなりません。

七月十日、グリーンホテルにての日本会議宮崎県央支部設立準備大会には、当支部より十名もの方々にご参加賜り、盛大に開催したところ です。

江崎講師の適確に時局を捉えた、対中国等の判り易い解説を聞いた後の懇親会場では各自意見交換をし乍ら、大変愉快な時間を過ごす事が出来ました。

翌十一日は国交大臣表彰の為上京し、その足で震災から四ヶ月経過した福島、山形、宮城三県の被災地を視察して、進まぬ復興に苛立ちを覚えた次第です。

TV映像や写真等では充分承知しているつもりでしたが、悪臭漂う瓦礫の山、田畑に取り残された漁船や車、そして流木等の惨状は本場に正視に耐えません。

今頃の季節、青苗の絨毯で覆われているはずの広大な仙台平野が土漠の如き様相を呈し、周辺農家の落胆を考えると軽々な激励も憚れるような雰囲気です。

東北各所に所在する友人達を見舞い乍ら、同じ日本人として何を為すべきか、改めて再考させられた、暑く重苦しい東北被災地視察でした。

同二十七日は、先月ご案内した当会県総会が都城中山荘で開催され、当支部より三名参加し、各支部の役員さん達と大いに交流を深めて来たところ です。

その席上当会名称が「宮崎県防衛協会青年部会」に変更、新理事として宮崎支部の石川武則、堤 康、大草光介三氏が承認された旨の報告がありました。

また防衛講話は三谷新田原基地司令が転属内示を受けた直後にも関わらず、中国やロシア軍が日本周辺海空を脅かす直近の実態を、第一線部隊指揮官及び将官としての見地から、誠に詳らかなご説明を戴いた次第です。

特に「軍人の名誉に関して自衛官も同列であり、国民からの信頼と期待があればこそ我々自衛官は命懸けで任務に邁進出来る」との同司令の熱い言葉に

聴衆皆深く感動し、その思いに青年部はどう応えるのか黙考せねばなりません。

さて高級幹部の人事異動が発令され、新陸幕長に話題の君塚東北方面総監が就任される事はご存じかと思いますが、君塚閣下からは昨年九月二十六日東北方面隊創立五十周年式典へのご案内を賜り、霞目駐屯地に出向いた処でした。

よく存じている方が榮達されると云う事は、何だか本場に嬉しく感じられ、日本国の為にも君塚陸幕長の更なるご活躍を心より願わずにはおられません。

先月案内の通り桜林美佐氏が十一月十二日「日本会議宮崎県央支部設立大会」の講師で来宮されますので、何卒会員諸兄にはご予定の程お願い申し上げます。

猛暑の砌、呉々もご自愛專一にお過ごし下さい。

平成二十三年八月一日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小倉和彦